



第33回
全国都市緑化よこはまフェア
Garden Necklace
YOKOHAMA 2017

～港北区事業～

●テーマフラワー 全国都市緑化よこはまフェアのテーマフラワーは、サクラ、チューリップ、バラです。



■シドモア桜の植樹

緑化フェアの開催を記念して、シドモア桜の植樹式と講演会を開催します。(平成 29 年 3 月実施予定)

【シドモア桜】 ワシントン市ポトマック河畔の桜並木は、1912 年に日米友好・親善のため日本から贈られた 3 千本の桜です。その背景には、米国に桜の名所を作りたいと奔走した一人の女性ジャーナリスト、エリザ・R・シドモアさんの存在がありました。その桜が 1987 年に里帰りをし、シドモアさんの墓碑（山手の外国人墓地）の傍らに植えられています。その枝を接ぎ木して苗木を作り、よこはまフェアの記念に植樹します。



▲シドモアさんの墓碑

■第 5 回港北オープンガーデン

「港北オープンガーデン」は、区民の皆さんが丹精込めて育てているお庭やコミュニティ花壇を巡るイベントで、毎年大好評!第 5 回を迎える平成 29 年春は、緑化フェアの関連イベントとして、盛り上げていきます。

●開催期間 平成 29 年 4 月 21 日(金)～23 日(日)、5 月 12 日(金)～14 日(日)

広報よこはま港北区版 12 月号等にてオープンガーデンの参加会場を募集します。

●チューリップで花絵を作ろう!

港北オープンガーデンが開催される 4 月に、約 6 千本のチューリップを使い、花絵を作る予定です。作った花絵は数日間展示し、見て触って楽しむことができます。



▲花絵作成の様子

▼第 4 回のパンフレット



■ポール・スミザーさんの園芸講座とイラスト展

10 月 29 日(土)に大倉山記念館にて、『自然の理にかなった庭づくり』をテーマに、「ポール・スミザーさんの園芸講座」を行いました。また、記念館の 3 階回廊にはスミザーさんの描いたイラストを展示(10 月 26 日～30 日)し、自然へのやさしいまなざしを紹介しました。



全国都市緑化よこはまフェア ～港北区事業～ ホームページ

緑化フェア 港北区 検索

問合せは港北区区政推進課へ
Tel.045-540-2230

港北エコアクション通信

Let's enjoy KOHOKU eco life!

発行:港北エコアクション 港北区区政推進課企画調整係 Tel.045-540-2230 Fax. 045-540-2209
推進本部事務局 港北区地域振興課資源化推進担当 Tel.045-540-2244 Fax. 045-540-2245



第33回全国都市緑化よこはまフェア ～港北区事業～ 来春に向けて、港北区を花と緑で彩ります。

■全国都市緑化よこはまフェアってなあに?

全国都市緑化フェアは、緑と花の魅力、緑化の重要性を広く発信する場として、昭和 58 年から毎年、日本全国の各都市で行われています。第 33 回は、横浜市が舞台!フェアの開催期間は、平成 29 年 3 月 25 日～6 月 4 日ですが、港北区では、P R のための様々な取組を、この秋から始めています。

■港北区ではどんなことをするの?

イギリス出身の園芸家ポール・スミザーさんの園芸講座やワークショップをはじめ、お子様からご年配の方まで参加できる「たねダンゴ」づくり、日米国際親善・友好の象徴「シドモア桜」の植樹など、区内各所で様々な取組を実施しています。平成 29 年度に 5 回を迎える「港北オープンガーデン」も地域の皆様と一体となって、より一層盛り上げていきたいと思っています。イベント等の最新情報は、広報よこはまやホームページ等でお知らせしますので、お見逃しなく!



©ITOON / GN2017

目次

- 第 33 回全国都市緑化よこはまフェア ～港北区事業～ p 1・4
- 減らそう!食べ物のもったいない p 2
- 港北区環境事業推進委員の地域活動 p 3

過去の通信(vol.1～11)を見るには

港北エコアクション通信

検索

01

減らそう！
『食べ物のもったいない』

「ヨコハマ3 R夢」 スリム マスコット イーオ

へら星 ミーオ

買物

保存

調理

○買物リストをつくる
○食べきれる量を買う
○誘惑に負けない

燃やさないモノを
しっかりメモ

○冷蔵庫を整理整頓
○賞味・消費期限を正しく理解
○食品に期限を大きく書く

冷凍庫チェック！

○料理は食べきれる量だけつくる
○食材は無駄なく使う
○食べきれなかった時は、冷蔵・冷凍で保存する

横浜市では、「ヨコハマ3 R夢 (スリム) プラン」を推進して、家庭から出される燃やすごみと資源物の削減に取り組んでいます。皆さんが出されている燃やすごみの中には、何も手が付けられずに廃棄された「手つかず食品」や「食べ残し」などの食品ロスがあります。

横浜で家庭から出される「手つかず食品」の量は年間に約2万トン、市民1人あたりに換算すると約5kg、金額にして約4,000円分となります。

どうして「手つかず食品」が出てしまうのでしょうか？

賞味期限・消費期限の近いものや傷みやすい食材の使い忘れ、食品を買いすぎてしまい使い切れなかった、冷蔵庫に保管をしているのを忘れてしまったということが原因としてあげられます。

「手つかず食品」を出さないために、まずは買い物の前に冷蔵庫のチェックをしてみましょう！

例えば、毎月10日と30日（イーオとミーオの日）は冷蔵庫の中をチェックする日にするなど、在庫を把握し無駄に捨てられてしまう食材を減らしましょう。「手つかず食品」を減らすことで家計の節約にもつながります。

また、それぞれの段階に合わせ、食品ロスを減らす取組にご協力をお願いします。

賞味期限と消費期限の違いって何？

- 賞味期限**…おいしく食べることができる期限を示しています。
劣化が比較的遅い食品に表示されています（例：スナック菓子、カップめん、缶詰など）。
期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるとは限りません。
- 消費期限**…食べても安全な期限を示しています。
品質の劣化が急速に進む食品に表示されています（例：弁当、総菜パン、生めんなど）。
期限内に食べるようにしましょう。
- どちらも開封する前の期限を表しており、一度開封したら期限にかかわらず早めに食べましょう。
（参考）農林水産省ホームページより抜粋



外食での「もったいない」をなくそう
「食べきり協力店」を上手に利用！

効果的に食べ残しを減らすために、横浜市と飲食店が連携して食品ロスを減らす「食べきり協力店事業」を進めています。

食べ切れない料理の持ち帰りに対応したり、少食の人のための「小盛り」メニューなど、食べ残しを減らすための工夫をしているお店です。

港北区内では現在 43 店舗（平成 28 年 9 月末現在）が登録しています。

「食べきり協力店」の登録店舗は、以下の5項目のうち1項目以上の取組をしています。

- ・小盛りメニューやごはん量の希望に対応
- ・持ち帰り希望者への対応
- ・食べ残しを減らすための呼びかけ
- ・ポスター掲示など食べ残し削減の啓発
- ・その他、食べ残しを減らすための工夫をしている

▶このステッカーが目印です！

食べきり協力店

その他の食べきり協力店など、詳しくはホームページ

ヨコハマ 食べきり協力店 で 検索

ミーオとイーオの分別辞典 Mlctionary ミクショナリー

vol. 12

発行:平成28年11月

02

港北区環境事業推進委員の地域活動

港北区には、自治会・町内会から推薦され、市長から委嘱された 298 名（平成 28 年 9 月末現在）の環境事業推進委員の方々が活動しています。この環境事業推進委員の皆さんが、資源循環局港北事務所と連携しながら、ごみの削減や清潔できれいな街づくりを推進しています。

地域における活動をいくつか紹介します。

樽町地区

環境事業推進委員がごみ集積場所でごみ出しをされる人に声掛けをするなど、分別の啓発を行っています。朝7時にごみ集積場所に立ち、分別を間違われている人などに声掛けをして、取り残しのシールの貼られたごみが出ないように取り組んでいます。

また、不法投棄や事業系ごみが捨てられているごみ集積場所には、定期的にパトロールを実施して美化活動に努めています。

燃やすごみの中には、リサイクル可能なプラスチック製容器包装や古紙などがまだまだ多く含まれています。

◀ごみ集積場所パトロール

篠原地区

ごみ出しや分別マナーの悪いごみ集積場所の状況を環境事業推進委員が確認して、早朝啓発を実施しています。プラスチック製容器包装・古紙などの分別方法や、「水切り」を実施することで、ごみの量や臭いが軽減され、ごみ集積場所がきれいになることを説明し、地域の皆さんと一緒にごみの削減に取り組んでいます。

特に、カラスや猫などによる散乱を防止するため、「収集日と時間を守る」、「散乱防止ネットやふた付容器を活用する」、「生ごみを減らす」ということを重点的に声掛けしています。

生ごみの約80%は水分だよ。腐敗や悪臭の主な原因になるからギュッとしぼってね。

◀ごみの出し方や分別などの説明会

菊名地区

毎年、環境事業推進委員の勉強会や意見交換会を実施しています。この勉強会では、地域のごみ問題などの事例を発表して情報共有を行っています。

また、菊名地区センターや菊名コミュニティハウスの文化祭に参加して、分別啓発を行っています。港北3 R夢サポーター（女性の環境事業推進委員）が中心となって活動し、来場者に声掛けをして食品ロスのアンケートを実施し、「食べ物のもったいない」を合言葉に、燃やすごみの日に何も手が付けられずに捨てられている「手つかず食品」を減らす啓発活動を行い、ごみの減量化に努めています。

アンケートの結果、「在庫があるのを忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった」という意見が多かったなあ…

◀菊名地区センター文化祭

新羽地区

環境事業推進委員がごみ集積場所を巡回して、ごみの分別状況の確認や排出指導、不法投棄のパトロールを実施しています。農業専用地区では、過去に不法投棄が多く捨てられたことがあり、夜間パトロールを実施したことで不法投棄が減少しました。

また、草・木が多く出される地域でもあり、剪定枝・雑草等を出す時のお願いとして、ごみの集積場所に「雑草等を袋に入れた後、口を縛らずに、何日か乾燥させることで水分が少なくなり、ごみ量も減らすことができます。」と掲示し、周知活動を行ってごみの減量化に努めています。

剪定枝や刈り草は、乾燥させてから出せば、ごみも軽くなるよ！

▲集積場所での早朝啓発

その他の地域でも、さまざまな活動を行い、ごみの減量化に取り組んでいますので、ご協力をお願いします。

ごみの分別でお困りの時は

パソコンやスマートフォン、携帯電話から

ミクショナリー で 検索

分別方法を知りたい品目をミクショナリーの検索欄に入力して検索ボタンを押すだけで、すぐに疑問に答えてくれます。

02

03